



同窓会の紋章

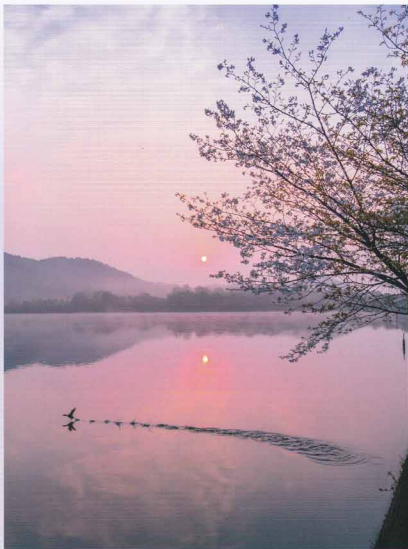
# 双ヶ丘

題字・石山荷心さん（山城14回）

2019年3月1日

13号

今号の表紙を飾るのは、京都を代表する写真家・水野克比古さん（山城12回）の作品です。淡く美しい色彩に桜、朝日、飛び立つ鴨……同窓会誌「双ヶ丘」は新卒業生にも配布していますが、平成最後の卒業生の門出にふさわしい作品をお寄せいただきました。ありがとうございます。



桜咲く広沢の池、カモが朝日に向かって飛びたちます

水野克比古さん 山城高校12回卒。同志社大学文学部を卒業後、東京総合写真専門学校研究科を経て、1969年から京都の風景・庭園・建築などの撮影を続け「京都写真」の第一人者といえるスタイルを確立する。2000年、西陣の地に町家を修復した水野克比古フォトスペース「町家写真館」を開設、一般公開（要予約）している。

日本写真家協会会員、日本写真芸術学会員、第33回（平成26年度）京都市文化賞功労賞受賞

## 同志会の三要素

京三中・山城高同志会

会長 渡部 隆夫



本同志会の先輩が同志会組織の三要素として名簿、機関誌、会計

報告を挙げておられ、教えられて参りました。「同級生が一堂に会し、楽しいひと時を過ごす」同志会を開催するには、同級生の連絡先をいつも整備更新しておく必要があります。近年では平成十三年六月に名簿を発行しましたが、平成十五年五月に個人情報保護法が成立したのを機に、名簿の発行を控えて来ましたが、事務局で三万八千名余の名簿を整備するには限度があり、資金も労力も不足しているのが現状です。

そこで、この度同志会名簿の専門業者・株式会社サトラに相談し、個人情報保護法のもとで、会員内での名簿販売と広告掲載の収入で名簿の発行を委託する契約を、理

事会の承認を得ていたしました。名簿の作成には個人の意思を尊重し、不掲載希望の方を除き、掲載することにしました。

今年三月末には十七年ぶりに新しい「会員名簿」が完成します。で、同級生の同志会や懇親会にご活用いただきたいと思います。

第二の要素、同志会誌「双ヶ丘」は同志生の活躍、親睦、近況及び母校の現況などをお知らせする大事なメディアです。しかし資金面や名簿管理などの関係で今までは、会員の一部分にしか配布出来ていませんでした。これについても出来るだけ早い機会に全会員の方に配布できるように仕組みを考えたいと思います。

第三の要素、会計報告については毎年一回年度理事総会の場で、ご報告しています。

これら三要素を大切に活動を進めたいと考えています。

尚、今後とも同志会会員の皆様のお声をいたしながら期待と信頼に応えられた活動を続けて参る所存です。で何卒、ご支援、ご協力をお願い致します。

## グローバル化の時代を

### 迎えた山城高校

校長 山口 隆範



同志会の皆様には、日頃より本校の教育に御理解・御

支援をいただき、心より感謝申し上げます。特に今年度は、同志会の御支援により、生徒10名を10年ぶりにドイツの姉妹校に派遣することができました。9月15日に日本を立ち、23日に帰国する充実した内容の8泊9日の旅でした。交流はもちろん現地の歴史や文化を学び、さらにブリュッセルまで足を延ばしてEU本部も訪問しました。参加した生徒は11月2日の課題研究発表会においてドイツでの体験を通して学んだことを発表しました。当日は渡部会長様を始め同志会の方々にも御出席いただきました。来年度はドイツから訪問がある予定です。現地で姉妹校の

校長先生と直接言葉を交わし、良好な関係を継続しようという確認ができました。今後、両校の絆はさらに強くなることでしょう。

こうした海外校との交流は年々盛んになっています。毎年海外の学校3校程度が本校を訪問し、英語による交流会を実施しています。今年度はシンガポールや台湾、香港の学校と交流をしました。また、学校交流とは別に、毎年1年間の留学生を受け入れています。現在は、アフリカのガーナから1名、台湾から1名が本校で学んでいます。さらには、インターネットを活用して海外の学校との交流も計画しているところです。このように山城高校もグローバル化の時代を迎えていると言っても過言ではありません。

同志会の皆様におかれましては、益々のご発展をお祈り申し上げますとともに、引き続き皆様の御理解・御支援をいただきますようお願い申し上げます。

夏の甲子園は100回大会  
我が山城高は地方大会「皆勤」

2018年,全国高等学校野球

選手権大会(夏の甲子園大会)は、1915年の第1回から数えて100回目の記念すべき大会となりました。我が山城高校(第1回当時は「京都五中」)は、この間、一度も欠場することなく、地方大

吉田義男さんと甲子園

第32回大会で甲子園出場をされた、山城高校4回卒業の吉田義男さんに当時を振り返っていただきました。

(聞き書き) 編集部・高柳



吉田義男さん

学制改革で  
京三中から山  
城高校となり  
ました。京二

商から山城高校に進学し、すぐに野球部に入りました。部員は1人

会に出場し続けています。

8月5日の甲子園球場での開会式には、全国に15校ある「皆勤校」の1校として、野球部主将の松永君が入場行進に加わりました。会誌「双ヶ丘」で特集として取り上げます。

3年合わせて35名くらいで、各学生10名ずつくらいでした。グラウンドは通称「トリ小屋」と呼ばれていた校舎と新館の間にあり、放課後練習で、サッカー部、野球部で場所取りをしていました。後栄治監督は上京区の翔鷹小学校の先生です。先生は技術も大切だが、山城高校の思い出を作ること。人よりも少し長く、毎日、続けること」と教えられました。

昭和25年、2年生の時に第32回全国高校野球選手権大会へ出場し、憧れの甲子園のグラウンドに

立ちました。3年生1人が欠場になり、メンバー入りし、3年生7人、2年生2人でした。

戦後間もない頃で、何もかもが不足。スパイク、バット、グローブ、ユニフォームをそろえるのも大変でした。部費は500円ぐらいでした。ユニフォームの胸につけられたロゴマークは、山城の

「Y」とハイスクールの「H」を重ね、組み合わせたものです。1年上級の片岡栄治マネジャー発案のデザインでした。

京都大会では準決勝で平安高校、決勝で伏見工業高校を破りました。当時は京滋から一校の出場枠だったため、京滋大会を戦い、八幡商業を破っての出場でした。



沈む夕日の中、衣笠球場で応援してくれた皆と一緒に、校歌を歌った感激は、今も忘れられません。しかしながら甲子園では大会初日の第2試合、相手は北海道代表の北海高校。わが山城高は左腕川村尚、キャッチャー川本浩司主将のバッテリー。バッターでは山下新造さん。過去の長距離離砲一覧表に名を連ねたほどの強打者。私は

山城高校のころ



ショートで打順は1番。2年生でただ一人のレギュラーでしたが、残念ながら3対5のスコアで初戦で敗れました。

翌年、2年連続出場を狙った夏の甲子園は、京都大会決勝で平安高校に敗れて逃しました。1年下の太田泰三さんや山本敏男さん（後に山城高校の監督をする）も印象深いです。



第32回大会1回戦、2塁カバーに入る遊撃手の吉田さん（左）

山城高校を卒業後、立命館大学に進学することになりました。手続きが済むとすぐに立命館の衣笠球場へ通い、山城高校の卒業式には出ましたが、ホームルームは立命館の試合に出るために退出しました。大学のユニフォームや帽子

は借り物でした。

その後、立命館を中退してプロ野球の阪神タイガースに猛アタックで入団。選手時代は身のこなしから「牛若丸」の異名をとり、現役引退後は3度にわたりタイガースの監督を務め、昭和60年には日



グラウンドを駆ける松永大毅君

本シリーズを制し、球団初の日本一に輝きました。

終生の師と仰ぐ妙心寺塔頭大珠院の盛永宋興師との出会いで「徹」ということばが心に残り、今も大切に守っています。

### 🏆 伝統に誇りを持つて 堂々行進

山城高校野球部を代表して甲子園球場を行進した、主将の松永大毅君に話を聞きました。



開会式の光景は今でもはっきり覚えています。行進のために控えていた狭い通路から外に出た瞬間、目の前に、圧倒されるほどに大きな甲子園のグラウンドが広がりました。ぎゅっしりと詰まった観客席からは、体験したことのないほどの大きな拍手が聞こえ、行進をしている僕たちを包んでくれました。

ずっと目指し、挑戦してきた甲子園です。胸にYHを付けたユニ

フォームに、山城高校野球部に誇りを感じながら、入場行進の話を聞きしからずとそうありたいと考え続けてきた通り、胸を張って、腕を大きく振って、堂々と歩きました。

今回の機会は、本当にたくさんの先輩方の努力が引き継がれてきたからこそあったものであり、100回目の大会の時に主将を務めていた私にたまたま与えていただいたものです。先輩方からのつながりに心から感謝をし、全国に誇るべき伝統を自分が引き継ぐことができて光榮に思っています。



## ●山城高校14会・ゴルフと温泉

山城高校14会（14回卒業）のゴルフ部は1992年に活動を始めました。登録メンバーは25名ですが、平均すると大体4、5組の参加です。春と秋の2回の開催となっています。2005年から、秋には合宿と称して1泊2ブレイと益々にぎやかになりました。秋の合宿コンペは岡山まで遠出していました。



ゴルフ場で全員集合



大広間ですき焼き

今回は、年齢も後期高齢者の仲間入りとなり、車を4、5台連ねていくにはチョットためらうようになり、近場での開催にしました。1日目は山城高卒の有名な、サッカーの釜本邦茂さんがオーナー理事をされている「クラウンヒルズ京都GC」でスタートしました。このコースは春にも回ったので承知のはずですが、皆さん前口上でしっかり言い訳しきりです。昼食時にレストランで顔を合わすと

「今日は調子が悪い！」と口々にけん制しあっています。午後のブレイも終え、ゴルフ場に便宜をはかっていただき、全員のゴルフクラブを翌日のブレイに備えて、一括搬送してもらいました。泊まり

は湯の花温泉「有楽荘」です。なんと、女将さんの栗原三矢子さん、その三女の加奈さんも山城高校の卒業生でした。夕食は牛肉たっぷりすき焼きをメインに刺身、先付など食べきれないほどです。アルコールも進み、ご機嫌さんでカラオケの舞台上がり、熱唱と笑い声と、拍手とで賑やかに楽しめました。

2日目は釜本理事長の「太閤垣CC」で競い合いました。お待ちかねの表彰式です。栄えある優勝は2日間連続で清水チヅさんでした。黒毛和牛500g、丹波コシヒカリ、丹波栗、大黒本しめじ、生椎茸と総取りでした。（宅配便を呼びましようか？）

ということで、次回から男性は

シニアティーからショットさせたい！  
（記・世話人）

## ●神宮の森でランチ会を楽しむ

山城18回 中尾 四郎

「関東山城組18」（山城高18回卒業の首都圏在住者で構成）の例会は6月23日、ランチ会形式で15人の仲間が集った。揃って古希を迎え、「暗い夜道と一人歩き」が危険な年代に差し掛かり、「日中の



関東山城組18の面々

方が参加しやすい」との声が多数を占めたのを受けたもの。

会場は神宮の森近く、参宮橋にある某大手企業の社内施設。佐々田芳枝さんの乾杯の発声で、南欧風料理のフルコースをワインで楽しむ。旧財閥系老舗企業の施設とあって、調度品や中居さんの対応も一味違う。会場確保に尽力頂いた佐古田君に改めて感謝。

平成の世では恐らくこれが最後の同期会。次の御代も元気に顔合わせできることを祈って散会した。

出席者は以下の通り（敬称略）。有嶋寛子、稲本あや子、佐々田芳枝、加峯悦子、橋本春子、平岩恵子、片野道子、真枝康子、宇多川隆、三谷文夫、林善夫、寺島竹夫、板橋一成、佐古田正昭、中尾四郎

## ● 還暦記念同窓会

山城28回幹事団

山城高校28回卒は、2004年に卒業以来初めての学年全体の同

窓会を開いたのを機に、それ以後、オリンピックイヤーの度に大同窓会を開いています。前回、2016年リオデジャネイロ五輪まで4回、毎回80〜1000人程度が集まって、しばしのタイムトリップを楽しんできました。

18年の初めに幹事団（11人）の新年会で、「今年は早生まれの人が還暦。春までに全員60歳代に入るのを記念して、オリンピックイヤーまでは2年あるが、ミニ同窓



ゲーム進行役



じゃんけんゲームで盛り上がる

会を開こう」という話が出て、10月28日に開催しました。今回は往復はがきによる開催告知と出欠確認はせず、SNSや口コミによる呼びかけで、40〜50人も集まれば上出来と思っていたのが、蓋を開けると67人が出席。これからはサッカーW杯の年も恒例にしては、という声も出て、和気あいあい、盛会となりました。

齡を重ね、同級生の中には、そろそろ鬼籍に入った人も目立つよ



## ● 文芸誌「時計台」

うになってきましたが、これからも末永く、明るく元気に、旧交を温め続けたいと思っています。

昭和21年11月、京三中の当時の5年生11人が同人として集い、文芸誌「時計台」を刊行しました。写真、生活も困窮する中、伝を頼って広告掲載を依頼するなど資金繰りに苦労しながら仕上げたのは、活版印刷70ページの堂々たる冊子で、非売品でしたが、書店の店頭においてもらったり、学校に配り歩いたりもしました。さらに原稿を集めながら第2集は日の目を見ませんでした。が、同人にとっては、青春時代の貴重な思い出となつてい

ます。

同人も多くが鬼籍に入られましたが、そんな戦後混乱期の学校生活の貴重な記録を、三中38回卒の森克巳さんが、「双ヶ丘」に寄せてくださいました。全文は「昭和21年の三中文芸活動のこと」というタイトルで、同窓会のホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

(編集部)

## ●OBのお店 「CZAR」

島津アリーナ京都（京都府立体育館）横の「CZAR」（池山一弥さん・山城26回経営）を訪ね



池山一弥さん

ました。今回賞味したおまかせコース（5000円）は、落花生とうふに始まって八寸と造り、焼き物は寒鰯の西京焼、揚げ物は旬の野菜の天ぷらと盛りだくさんの内容で、大満足の舌鼓を打ちました。

◇ (編集部・中村)

「早いもので、この4月で開店37周年を迎えます。和食を中心に、京都らしい、旬の味覚をお楽しみいただいて、好評を得ています。寄る年波で若い頃のように無理は



「CZAR」前景

利かず、足を痛めてからは、コースを中心にご予約のみの営業とすることが多くなっていますが、これからも末永く愛されるよう、体をいたわりつつ続けていきたいと思っています」

(談)

## ●NPO法人 松山T.F.C

サッカー元日本代表で京料理「松山閣松山」社長の松山吉之さん（山城37回卒）が、NPO法人「松山T.F.C」を設立し、活動を始められました。F.Cはフットボール・クラブですが、頭のTはトータル、単にサッカーを教えるだけでなく、総合的な人間力を育むとの意が込められています。

◇



松山吉之さん（HPより）

「小学2年から、紫光クラブで森貞男先生（同窓会名誉会長）の指導のもと、山城高校のグラウンドでサッカーの練習に励んでいます。この年になって、サッカーをしてきたからこそ今の自分がある、と思うことが多くなり、その経験を社会に還元し、自分を育ててくれたサッカーに恩返しをしよう」と法人を立ち上げました。人間力育成と言うと大げさに聞こえるかもしれませんが、サッカーを通じて仲間と助け合う心、互いを思いやる優しさを育みたい、大人になって、サッカーをやってきて良かったと思える指導をしたいと思っています。家業が飲食業ですので、近年よく言われる「食育」でも役に立てれば、と思います」(談)



松山T.F.Cリーフレット表紙



コーチには実弟の博明氏、法人の理事には、同窓の釜本邦茂氏や堀場厚氏も名を連ねておられます。賛助会員も募集しておられますので、ぜひホームページ (<http://matsuyama-tfc.com>) をご覧ください。

(編集部・中村)

### ●第33回「山城高校21世紀塾」

#### 「人生一〇〇年時代の

#### 社会人基礎力

#### 「これからの時代は」

#### 必要な力とは」

学校法人大和学園

京都栄養医療専門学校校長

影山弘典さん(山城43回卒)



影山弘典さん

11月21日、右京ふれあい文化会館で山城高校生360人を対象に講演されました。自己紹介と高校時代の懐かしい思い出から始まり、生徒たちに問題を投げかけ、生徒の回答から説明に移るといふ分かりやすい講義でした。

講演内容の要諦は――

社会人基礎力の三つの能力、①前に踏み出す力(アクション)②考え抜く力(シンキング)③チームで働く力(チームワーク)を学生時代までに身に付けておく必要がある。すでにサービス、教育、料理、医療、自動運転などの身近な生活にも人工知能の活用による自動化が進みつつある。

人生一〇〇年時代。変化が激しく、予測できない社会だからこそ、学ぶ姿勢、学習や体験、経験、出会いを通じて社会的基礎力を身に付け、やりたい自分、夢に向かって果敢にチャレンジをすること。山城高校生としての「文武両道」を受け継いでほしい。知恵を働かせ、

主体的に未来を選択することが重要である。

①創造的思考(アイデアマン)②ソーシャル・インテリジェンス(人間関係の構築が得意なカリスマ。説得や交渉の場で活躍するネゴシエーター)③非定型(マニュアルなしで、柔軟に顧客サービスを提案、提供できるコンシエルジュ)が、これからの時代に必要とされる。

### ●山城祭

山城32回

近藤

喜代子

長女が山城高校に入学して3年目、久しぶりに山城祭を見に行きました。山城高校を受験すると聞いたとき、少し熱くなるのを感じた親御さんは、私だけではなく多々いらつしやると伺っております。

学年ごとに、1年生はステージパフォーマンス。昨年までは大会議室でしたが、今年から体育館での発表でした。2年生は中庭でダ



2018年・平成最後の山城祭

ンス。そして3年生は体育館での演劇と、それぞれ工夫を凝らして、みんなで協力して一つのものを創り上げていく喜びを感じているようでした。

また、文化部の展示物、そして軽音部24バンドの演奏会。うち2バンドは先生の参加と学校一丸となったイベントでした。

水泳部のウォーターボーイズは、毎年テレビ番組で取り上げられるほど有名ですが、ダンス部のステージパフォーマンスも必見で



体育祭・雨中のリレー

す。アイドルグループのコンサートかと思うほどのペンライトが、光っていました。

### ●「ダンス部選手権」でダブル受賞

高校ダンス部の日本一を決める大会である「第11回日本高校ダンス部選手権」(産経新聞社ほか主催)に、ダンス部が、2・12名で構成するスモールクラスと13名以上で構成するビッグクラスの両部門に、激戦の近畿・中国・四国予選



ダンス部全国大会スモールクラス

を突破して出場しました。全国大会は、8月16日(スモールクラス)・17日(ビッグクラス)に横浜市で行われ、両チームは、この日に向けて練習を積み重ねてきました。大会当日、スモールクラスでは、男子12名がバク転・側宙等のタンブリング技を随所に織り込み力強さを表現した切れのある演技で、優勝・準優勝に次ぐ優秀賞を受賞し、またビッグクラスでも女子35名と男子1名の計36名が、宇治の茶摘みをイメージした創造性の

ある演技を披露して、ワン・ダイニング特別賞を受賞しました。両部門でダブル受賞することは快挙であり、全国的に見ても稀有なことです。

「日本高校ダンス部選手権」は近年注目を集めている大会であり、テレビや新聞で本校ダンス部の活躍のシーンが報じられました。また、ビッグクラスのメンバーには、聴覚障がいを乗り越えて、幼少の時からダンスを続けてきている3年生もあり、他のメンバー



ダンス部全国大会ビッグクラス

とシンクロして何ら遜色なく演技する彼の姿は、テレビのニュース番組の特集にも取り上げられて、視聴者に勇気や感動を与えることになりました。

### ●ドイツ派遣交流 プログラムに参加して

山城高教諭 菅原 昌子  
平成30年9月15日から23日まで、姉妹校のドイツ、フィルダーペンデン校との交流事業として、生徒10名と山口校長先生に同行し、ドイツ派遣交流プログラムに参加させていただきました。前回のドイツ訪問が平成20年でしたので10年ぶりの訪問となりました。

初日より6日間、ドイツ滞在中は全てフィルダーペンデン校の生徒の家庭にホームステイをさせていただきました。フィルダーペンデン校ではドイツの生徒と一緒に英語、体育、化学の授業を受講し、様々なトピックについてディスカッションする機会も持ちまし



河 获 梅 井 吉 山 水 户 平 名 志 澤 近 垣 奥 隼 小 村 山 口 文 守 宮 三 松 堀 森 林 田 津 高 柳 澤 飯 淵 郡 清 釜 加 岩 石 上 渡  
本 田 原 元 岡 國 部 井 倉      田 藤 田 村 林 木 村 山 口 宇 屋 本 橋 本      田 下 野 田 本 海 山 田 本 藤 田 原 邊  
光 建 俊 重 大    和 德 満 安 容 治 正 惠 孝 一 祐 信 道 秀 正      峻 泰 嘉 雅 也      田 拓 佑 信 俊 富 邦 祥    章 七 弘  
尤 美    二    治    已 浩 光 和 野 之 子 彦 治      隆 隆 通 二 明 治 太 樹 壽      勝 子 佐 老 也      也 と り      子 子 子      一 茂      子 子    子 子

[illegible]

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 森 | 青 | 楓 | 木 | 田 | 中 | 山 | 毛 | 仁 | 田 | 小 | 松 | 坂 | 加 | 榮 | 八 | 長 | 谷 | 比 | 玉 | 澤 | 井 | 和 | 山 | 三 | 桑 | 北 | 桶 | 箕 | 三 | 松 | 增 | 牧 | 藤 | 振 | 廣 | 平 | 林 | 濱 |   |
| 雅 | 木 | 村 | 本 | 利 | 田 | 村 | 寺 | 田 | 地 | 田 | 水 |   |   |   |   | 田 | 田 | 上 | 田 | 田 | 田 | 山 | 谷 | 浦 | 上 | 見 | 野 | 模 | 久 | 博 | 典 |   |   |   |   |   |   |   |   |
| 則 | 申 | 美 | 伯 | 也 | 弘 | 志 | 明 | 二 | 多 | 美 | 義 | 基 | 英 | 雄 | 福 | 太 | 郎 | 郁 | 孝 | 孝 | 隆 | 公 | 繁 | 勝 | 正 | 裕 | 榮 | 子 | 妙 | 直 | 康 | 信 | 博 | 規 | 久 | 伸 | 美 | 東 | 伊 |

京都府母校応援  
ふるさと事業

「存じますか」  
「母校応援」  
「ふんわり事業」

京都府教育委員会（京都府母体校）は、本校の「国際教育」を「国際理解教育」として、府立学校の教育環境の充実のための寄付金を募っています。ふるさと納税制度を活用したもので、応援したい学校を指定して寄付することができ、寄付額のうちの５００円を超える部分（一定の上限はあります）が所得税と住民税から控除されます。

山城高校のこの事業での取り組みは「グローバル人材育成プラン」で寄付金は、海外校との交流や、英語スピーキングなど交流への事前学習に役立てられます。

寄付の申込み方法はいくつかあります。詳しくは府教委または山城高校のホームページをご覧ください。

ＯＢ・ＯＧの方、母校の特色ある教育をもち立てていきましょう。

山城高校のこの事業での取り組みは「グローバル人材育成プラン」で、寄付金は、海外校との交流や、英語スピーキングなど交流への事前学習

寄付の申し込み方法はいくつかあります。詳しくは府教委または山城高校のホームページをご覧ください。

OB・OGの力で、母校の特色ある教育をもり立てていきましょう。

## 編集後記

京三中・山城高同窓会誌「双丘」第13号をお届けします。平成最後の発行となる今号では、第100回を迎えた夏の甲子園大会を記念し

5月からの新元号の下でも、未だくも愛読いただけるよう、頑張ってくださいし続けたいと思っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。

のホームページは、新アドレス <http://www.yamashirokoudousoukaic.com> に移転しています。ご注意ください。

(お断り) 掲載に当たっては、数字や送り仮名、漢字の使い分けなど、主要全国紙のスタイルを参考に、表記の統一をはかっています。ご了承ください。

京三中・山城高同窓会会誌

「双ヶ丘」第13号 (非売)

2019年3月1日発行

京都市北区大將軍坂田町29

京都府立山城高等学校内

<http://www.yamashirok>

GOOSEBUMBLE.COM  
GET IT FIRST! GET IT FIRST!

同窓會會長・渡部隆夫  
編集人 山城28回・中村哲也

京都府立第三中学校 校歌

朝に仰く秀嶺愛宕  
夕に撫ふ清流桂  
山河自然の靈氣を享けて  
集ふ双陵健児一千  
おお三中その名ぞ  
我らが誇り

誠実天の聖火とかかけ  
剛健地の威徳とたたへ  
崇文尚武ただ一途に  
競ふ姿の雄々しさ見よ  
おお三中その名ぞ  
我らがまもり

運取不離の光と情み  
協同不壊の翼と張りて  
若き生命の日に新しく  
理想の空ゆく羽音を聴  
おお三中その名ぞ  
我らが力

歴史にはふさぎに  
繚乱誇る桜の徽章  
護りてとはに祖国の幸を  
拓かん我が大なる倭  
おお三中その名ぞ  
我がいのち

夏曆月三十一日

流れさやけき桂川  
御室のさくら咲き匂ふ  
学びの家のたふとさよ  
正義 真実 責任の  
命みなぎるわれら山城

愛宕の峰に雲隠れて  
日かげさしそふ西の京  
嵯峨野をわたる風清き  
学びの園のめでたさよ  
平和 協力 友愛の  
光あまねきわれら山城